




松本病院

## 地域医療連携室だより

Matsumoto National Hospital

発行責任者/米山威久 編集/地域医療連携室


 松本病院  
 薬剤科長 戸邊 國之
 

品の使用による臨床効果の確認により、真に、先発医薬品と同様に有効性や安全性が確立された場合には、更に多種類の薬における情報の収集、分析と加工をし、編集して薬剤師からみたそれぞれの薬の特性を患者に伝えることが可能になります。強いて言えば最初から真の情報伝達が可能となればいいのですが… 血中濃度の時間的推移と溶解性のみでなく、有効性分の作用部位での効果のばらつき等の指標が更にあつたらもっと役割も最初からあるかなと思われま

す。地域との関わりは病院業務に追われている毎日で薬剤科はまだですが、可能なものから取り組み、率先して地域医療連携にご協力いただいている皆様と共に地域医療発展のために努力をしていく所存ですので、今後ともご指導のほどお願い申し上げます。

さて、官舎のひとりまかないの詫びしい、寒さの厳しい冬が過ぎ、現時点の過ごしやすいとて良い喜びの春から初夏の季節になりました。この季節のように、松本病院が発展し、薬剤科の貢献もでき、週末の自宅への行き帰りの車がひとり芝居によるジュークボックスとなり、更に楽しく快適なドライブになることを念じながら夢みながら…。

6月には、赴任後3年が過ぎようとしていますが、あらためて薬剤科長の戸邊と言います。よろしく願いいたします。

国立病院機構松本病院も4月から新しい院長を迎え新たな一歩ですが、薬剤師の教育も調剤のテクニシャンから真のチーム医療の一員としての教育が始まりました。医療薬学と実務研修です。医療現場での医師の指導のものと患者医療についてやっとな薬剤師もスペシャリストとしてのコンセンサスがわずかに認められた結果と思っています。現薬剤師もますます勉強し努力し、「がん薬物治療」

など益々特化される名称に負けない研鑽が必要になっています。

患者の身になっての医療にも、薬の分野での新たな出来事があります。既にDPCではお馴染みの後発医薬品への取り組みも診療報酬で前面に出て、外来処方箋に「後発医薬品への変更可」の欄が記載されました。患者とともに薬剤師が相談して薬そのものを決めることが可能となりました。薬剤師の薬に対する認識を新たにできる道が開けたとも思っています。当面は値段を安くできると思うことしかないような内容ですが、今後、多くの診療機関での後発医薬

### 国立病院機構 松本病院の基本理念

- 患者様の立場や権利を尊重し、十分な説明と同意のもとに、患者様中心の医療を行います。
- EBMに基づいた医療を行うことにより、人の生命に関わる専門職として、質の高い医療を責任をもって提供します。
- 和とは連携である。職場の和のみならず、専門技術を総合的に連携させ、チーム医療や地域の医療連携を大切にします。
- チャレンジ精神を持ち、常に前進します。

# 職 場 紹 介



## 4B病棟

4階の病棟から見える山々に若葉が鮮やかに映え、夏の気配が感じられる今日この頃です。

4B病棟は、泌尿器科、内科、皮膚科、耳鼻科、眼科の混合病棟です。手術療法、化学療法、放射線療法、内科的治療などの医療・看護を行っています。

泌尿器科病棟医長をはじめ、各科医師と看護師23名（看護師長1名、副看護師長2名、看護師20名）と看護助手1名のスタッフが勤務しています。混合病棟にふさわしく個性派揃いですが、持ち前の明るさとチームワークのよさで日々がんばっています。入院前の生活習慣の情報を大切に、患者様に安心して入院生活をしていただけるよう誠意をもって対応しています。また、患者様ひとりひとりの状況に添って丁寧な対応にこころがけ、清潔感を大切に、特に患者様のスキンケアを積極的に取り入れた看護を提供しています。そして、「排尿障害のある患者様の



## 4B看護師スタッフ

竹花師長、平林・倉下副師長 他21名

「退院後の生活を視野に入れたケアを提供します」をスローガンとし、退院後も安心して自宅で生活をしていただけるように、早期よりソーシャルワーカーと連携を図り、受け持ち看護師、患者様や家族の方といっしょに準備をおこなっています。

今後も混合病棟の特殊性を活かし、幅広く対応できる医療スタッフを目指していきます。よろしくお願いいたします。



倉下 澄子  
(4B副師長)



## 勉強会のお知らせ

地域の皆様方のご参加をお待ちしています。

6月15日(木) 内科・外科勉強会 第2カンファレンスルーム  
19:00~20:00

6月15日(木) 小児科勉強会 会議室  
19:00~20:00



## 松本の歳時記

6/30~7/1 鳥立の裸祭り (津島神社例祭)





## 開業医の先生紹介

前澤医院  
前澤 正久 院長  
前澤 秀彦 先生



当前澤医院も今年、41年目を迎えます。父が、この地で開業してから、私自身も、小学校、中学校、高校と、この地域で育ちました。松本を離れたのは、医学生時代と、病院勤務医として活動していた10数年間ということになります。私が子どものころとは、身近な周囲の風景は、著しく様変わりしました。しかし、あのなだらかな東の山々と、きりりと聳え立つ西の山々のかもし出すこの風景は、相変わらずの安心感と癒しを私に、与えてくれます。当院は、院長としての父が、主に管理業務を、そして私が、ほとんどの診療業務を担当しています。私が子供のころより、この地域に松本病院は存在しておりますから、当然その係わり合いもより深くなってきます。私が、まだ医学生のところ、春休みを利用して、内科の臨床実習をさせていただいたことがあります。当時の

国立松本病院長と私が存在していた大学の教授が、医学部時代の同級生ということで、教授が病院長にかけあって実習が実現しました。そのような経緯でしたので、ただでさえ、日常診療で忙しいところへ、突然やって来てのことですから、大変な迷惑な話であったと思います。(当時、病院の受付へ行って、教授よりの手紙を携えて、病院長に会わせてくださいといったところ… 不審者扱いされたのを、覚えています。今考えてみると、無理はないかなあとは思いますが…。) 当時の内科の先生は、私の面顔をよくみてくださいました。そのときの先生方の姿、お話くださったことは、そののち、私が医師になってからの行動、態度に少なからず、影響を与えています。早いもので私も、医院で勤務するようになって、約8年になります。その間、松本病院の全科の先生方

のほか、窓口になってくださいました看護師さん、医療連携室のみなさまには、大変お世話になり心より感謝しています。また松本病院には、自分の家族も任せられるような、尊敬できる先生が、数多く勤務していらっしゃいます。時間外等、無理を言ってお願ひしたりしていますが、いつも、私の要望に対応していただき、本当に有難く思っています。最後に、今後は、できるだけ無理を言いません(?)ので、引き続きよろしくお願ひ申し上げます。



前澤医院  
〒399-0011  
長野県松本市寿北7-5-6  
TEL : 0263-58-2432  
FAX : 0263-86-6887



## 内視鏡検査のご案内



胃内視鏡検査・大腸内視鏡検査等をご希望される施設(先生)は、  
当院 地域医療連携室までご相談下さい。  
ご利用をお待ちしております。



# 看護学校最後の戴帽式

教育主事 塩澤 紀子

平成18年5月10日、松本病院附属看護学校最後の戴帽式が行われました。39名の戴帽生は、純白のナースキャップを戴き、緊張の中にもすがすがしい面立ちで式に臨みました。現在はキャップレスの病院が増え、当校の学生の実習も昨年よりキャップレスになっています。しかし、看護師としての自覚と責任の重さを実感し、心新たに看護の道に進むことを誓うこの戴帽式の意義は大きいと言えます。又、ナイチンゲールの灯を受け継いで行われるキャンドルサービス。こころを一つにして看護師の心構えを唱えたナイチンゲール誓詞は、キャンドルの灯りとともに一生こころに刻まれることでしょう。

## 患者さまの紹介方法

### FAXによる予約

地域医療連携室(FAX 0263-86-2816)に送信して下さい。  
15分以内にお返事を致します。

### お電話による予約

地域医療連携室(TEL 0263-86-2812)までお電話を下さい。  
患者さまのお名前・生年月日・受診希望日をお知らせ下さい。  
日時をお伝え致します。

### ご予約なしの場合

午前8:30~午前11:00までにお越し下さい。  
紹介患者さまは優先致します。

紹介状・保険証等は、  
受診当日 新患窓口  
までお持ち下さい。  
当日は、室員が診療科  
にご案内致します。



当院では、専用の診療情報提供書をご用意しております。  
ご希望される場合は、地域医療連携室までお気軽にご用命ください。

地域医療機関の先生方のご寄稿・ご意見をお待ちしております。  
地域医療連携室 ☎0263-86-2812 征矢まで連絡をお願いします。